

視察調査・研修会等報告書

令和 5 年 6 月 16 日

下記のとおり報告いたします。

小山市議会議員 篠崎佳久 様

議員氏名(篠崎佳久)



研修・視察日時	令和 5 年 6 月 3 日
研修会場・視察先	ライトキューブ宇都宮 宇都宮市宮みらい-20
研修名・視察目的	NPO法人野川みらい 2020 第 2 期 川和久氏講演会 mRNA ワクチンでとくにならぬ方のご遺族の声を聞き、 被害者救済に関する一般質問の参考とする。
応対者(説明者)の 役職・氏名等 ※視察調査のみ記載	
参加議員(同行者)	
調査概要	「NPO法人野川みらい 2020」は、新型コロナウイルス感染症予防として 用いられた mRNA ワクチンを接種し、死亡、または重篤副作用を呈している ご遺族や被害者の支援を目的に 2020 年に設立された。 2023 年 4 月 28 日時点の厚生労働省の発表によると、ワクチン接種後にとく にならぬ方は 2059 名、重篤副作用は 26,974 名であり、mRNA ワクチンと同日 接種回数で比較すると、コロナワクチンが 50 倍近く報告が多い。 本調査研修では、日本におけるコロナワクチン被害者の実態と、救済 制度を把握し、被害者遺族の苦悩の声を聞き、コロナワクチンの危 険性について理解を深めた。
市政の課題等に対し どのように参考になるか、 所感等	小山市において、今年 2 月 16 日にコロナワクチン接種後にとくにならぬ 1 名の小山市民のそばの救済制度の審査がコロナワクチン副反応に は死と認定され、遺族に 4445 万円が国から給付されている。 今日の調査では、多くのコロナワクチンの遺族や被害者の苦悩が救済 できずにいる現状を知り、小山市においてそのような事態を起してな いように、コロナワクチン被害者の相談窓口や救済制度の手続きを、 コロナワクチンの危険性について、より多くの市民の方々に周知する上で非 常に有益な研究であった。

視察調査・研修会等報告書

令和 5 年 8 月 4 日

下記のとおり報告いたします。

小山市議会議長 篠崎 佳之 様



議員氏名(鶴見貴弘)

研修・視察日時	令和 5 年 8 月 12 日
研修会場・視察先	東京 築地あかつきコミュニティルーム
研修名・視察目的	自治体財政研究会
応対者(説明者)の 役職・氏名等 ※視察調査のみ記載	
参加議員(同行者)	
調査概要	「地方自治ではなにか」と改めて見つめ直し、政府の下請けから住民自治を促すため、「市民に見る公会計」、「豊かや住民連携」、「人口減少と見据えた自治体運営」等に焦点を絞る。 具体的には、人口減少社会における自治体の課題、公民連携による自治体経営、市民決算のための自治体財政分析、地方財政にやさしい環境政策、バランスシートを語る市長のバランスシートの作成等。
市政の課題等に対し どのように参考になるか、 所感等	市の財政をよりよく理解し、市民の生活から税金の使い方を見直し、取り組まなければならない。特に小山市の貸借対照表を分析し、市の財政状況を詳しく調べる。持続可能性という視点で取り入れ、市政に取り組んでいきたい。

視察調査・研修会等報告書

令和5年10月13日

下記のとおり報告いたします。

小山市議会議長

様

篠崎 佳之

議員氏名(鶴見 貴弘)



研修・視察日時	令和5年10月13日
研修会場・視察先	八戸市立美術館、八戸市ブックセンター、八戸市立図書館
研修名・視察目的	全国都市問題会議、文化芸術を中心にまちづくりを展開している八戸市へ行政視察を実施し、小山市でのまちづくりの参考にす。
応対者(説明者)の 役職・氏名等 ※視察調査のみ記載	八戸市職員
参加議員(同行者)	
調査概要	八戸市の中心街に立地する芸術、文化観光交流、体育のまちづくりの各拠点とまちづくりの巡り、八戸市の中心街で展開する文化政策の本質に触れ、地元のまちづくりにおける中心街の魅力を体験する。
市政の課題等に対し どのように参考になるか、 所感等	小山市には文教地区といえる地区は今のところ存在しないが、間々田地区は今後、文教地区として再生できると考えている。そのため情報と今回の視察で学ぶことができた。興味深かったのが八戸市ブックセンターで、これは市営の本屋であり、行政が市民に読書をしてほしいという思いがそのために事業がスタートしている。なぜ市営かというと、一番の理由は運営がしやすいということ。児童生徒にこまめにしかつおしな、2000冊分のコーナーを無料で提供している。児童生徒が本を借るきっかけを作っている。改めて、小山市はまちづくりでビジョンが不透明なことに認識した。

視察調査・研修会等報告書

令和 5 年 12 月 17 日

下記のとおり報告いたします。

小山市議会議長 篠崎 佳之 様

議員氏名(鶴見 孝弘)



研修・視察日時	令和 5 年 12 月 9 日
研修会場・視察先	東京都神田神保町3丁目4
研修名・視察目的	第3回 救国シフトセミナー「地方自治体が担う安全保障」
応対者(説明者)の 役職・氏名等 ※視察調査のみ記載	
参加議員(同行者)	
調査概要	身近な千代田村の町長が国を安全保障に力を入れていること、 安保三文書に基盤とした防衛力強化は地方自治体の役割 へと変わってきていること、地方議員が自覚することから始まる 国民、市民の保護と経済、軍事施設等の整備をテーマにその重要性、 問題点を解説する。
市政の課題等に対し どのように参考になるか、 所感等	ウクライナ危機やイスラエル問題に端を発し、国際情勢が不安定に陥 一方、地方自治体においても安全保障の関心が高まっている。12月12日 市内において防災訓練も行う。自分たちの町は自分たちで守るという 意識が重要であることを再確認した。小山市は内陸であり、港湾等には 不在というが有事の際の食糧備蓄等は地方自治体への責務と見 ている。一地方議員として安全保障を地方から担っている。

視察調査・研修会等報告書



令和 6 年 4 月 1 日

下記のとおり報告いたします。

小山市議会議員 篠崎 佳之 様

議員氏名(鶴見貴弘)

研修・視察日時	令和 6 年 3 月 31 日
研修会場・視察先	東京大学 弥生講堂 東京都文京区弥生1丁目1
研修名・視察目的	食と農の未来と日本
応対者(説明者)の 役職・氏名等 ※視察調査のみ記載	
参加議員(同行者)	
調査概要	医療・農・食の分野でご活躍中の井上正康氏、鈴木宣弘氏、山田正彦氏の3名の講演会、食と農、医療の現場について、日本はいかに危機的な状況にある。パンデミック条約、148改正問題、緊急事態条項、種子法改正問題、食料基本法改正問題など、次々と矢張り攻められ日本が危機的な局面に直面している。この現状に対し、登壇者の3名の方々に強く警鐘を鳴らしていただき、各専門分野において深掘り下がり、テーマについて深く語り合える貴重な機会となり、各地方自治体で考えることは何かを考えた。
市政の課題等に対し どのように参考になるか、 所感等	医療については、新型コロナウイルスの健康被害が蔓延し続ける中、救済制度の整備に必要とする「予防策」の行政の保存期間が5年間であること、それ以降の申立が現状では行えない状況での保存期間の無期限延長が必要。農と食については、小山中は鈴木氏山田氏とも交流があり、特に有機農業を学校給食に普及させるための方法を学んだ。一般に有機農業は収量が減る(慣行農業と比べて)と言われているが、普及率の最大の要因であるが、現在はむしろ収量が減る方法が開発されており、障害がはらわれたので、関係者と共に有機農業の推進を促している。